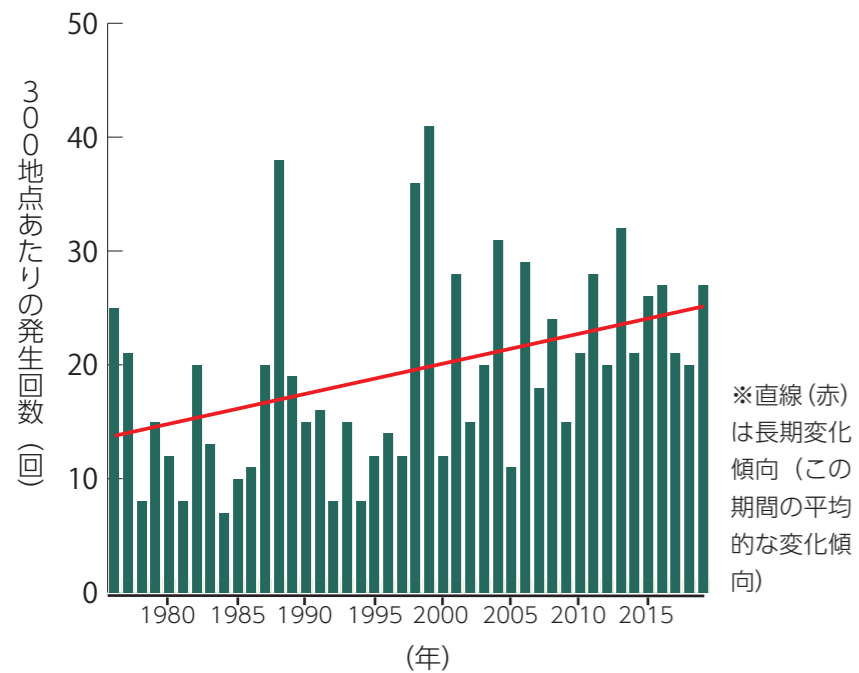


## ■全国（アメダス）の1時間降水量 80mm以上の年間発生回数

ここ40年の統計を見ると、1時間降水量50mm以上の「非常に激しい雨」の年間発生回数は約1.4倍に、1時間降水量80mm以上の「猛烈な雨」の年間発生回数は約1.7倍にもなっています。



【出典】 気象庁「大雨や猛暑日など（極端現象）のこれまでの変化」



# 水に備える

摂津と自然と災害と。  
水害を、もう一度考える。

担当 防災危機管理課

## ■梅雨前線に関係する主な近年の災害

近年梅雨前線と台風が重なり、記録的な大雨が発生し、全国各地でさまざまな被害が発生しています。

災害をもたらした気象事例			
平成30年	【平成30年7月豪雨】 (前線及び台風第7号による大雨等)	6月28日～ 7月8日	西日本を中心に全国的に広い範囲で記録的な大雨。 (総降水量が四国地方で1,800ミリ超え) ▽死者224人、行方不明者8人、負傷者459人▽住家全壊6,758棟、半壊10,878棟、一部破損3,917棟▽床上浸水8,567棟、床下浸水21,913棟 など
平成29年	梅雨前線及び台風第3号による大雨と暴風(速報)	6月30日～ 7月10日	西日本から東日本を中心に大雨。5日から6日にかけて西日本で記録的な大雨。(平成29年7月九州北部豪雨) ▽死者39人、行方不明者4人、負傷者35人▽住家全壊309棟、半壊1,103棟、一部破損94棟▽床上浸水202棟、床下浸水1,706棟 など
平成28年	梅雨前線による大雨(速報)	6月19日～ 6月30日	西日本を中心に大雨。 (熊本県甲佐町で、最大1時間降水量150ミリ観測) ▽死者7人、負傷者12人▽住家全壊37棟、半壊165棟、一部損壊189棟▽床上浸水520棟、床下浸水2,015棟 など
平成27年	梅雨前線および台風第9号、第11号、第12号による大雨	6月2日～7月26日	九州南部、奄美地方を中心に大雨。(総降水量が200ミリ超え) 九州を中心に土砂災害、浸水害、河川の氾濫など

【出典】 気象庁「近年の災害をもたらした気象事例」

△水位が上昇した安威川(平成26年8月24日午後7時20分、安威川の最大水位が3.76mになり、避難勧告を発令)



△通常水位の安威川

毎年6月初旬から7月中旬にかけて、梅雨前線が日本列島に停滞し、激しい豪雨が発生しています。近年では集中豪雨や局地的大雨が頻発しており、これまでに想定できないような雨が降っています。

本市には、淀川や安威川など、6本の一級河川が流れており、河川が氾濫した場合には、大きな被害が発生すると考えられます。一人ひとりが、日頃から災害について考え、いざという時のために備える必要があります。

自分の身は自分で守る行動を心掛けましょう。



# 洪水時の情報収集と避難行動

災害発生のおそれがでたら・・・

## 情報の収集を

河川の水位を見に行くのは危険なので、河川に近づかないようにしましょう

災害時の情報収集にはさまざまな方法があります。受け身にならず、積極的に入手するようにしましょう。

テレビ  
・ラジオ



インターネット

市ホームページやおおさか防災ネットなど



防災行政無線・  
広報車



SNS・防災アプリ

市の公式LINEやYahoo!防災アプリ（本紙のトピックスに掲載）など



市公式LINEアカウント  
友だち登録はこちら

メール

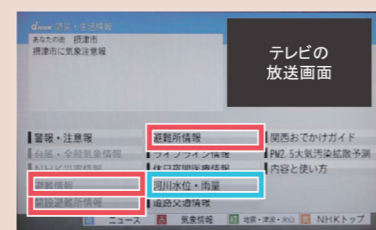
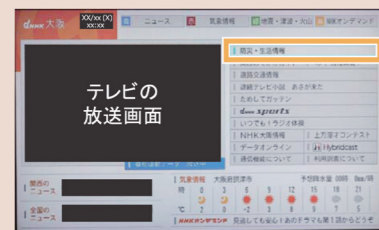
緊急速報メール・  
防災情報メール



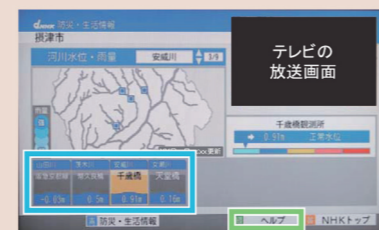
## 防災情報の確認方法

●テレビ NHK(地デジ1ch)を選択し、リモコンの④ボタンで見ることができます

- ① 防災・生活情報 を選択      ② 河川水位・雨量 を選択      ③ 淀川・安威川の水位 を確認



※ 避難情報 開設避難所情報 も確認できます。



※ ヘルプ から危険度も確認できます

●インターネット パソコンやスマートフォンで、河川監視カメラの画像を見ることができます

- ① 「大阪府河川防災情報」を検索・アクセス → ② ページ中段の 画像情報 を選択 → ③ ページの右地図から見たい 地点のカメラを選択

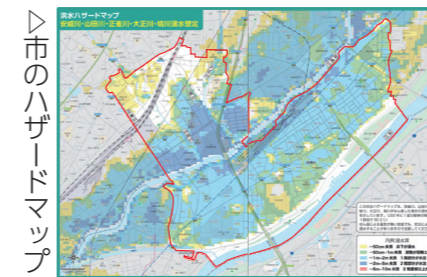
## 防災行政無線

小学校などに設置している防災行政無線のスピーカーから避難情報などを発信します。内容が聞き取りにくい場合は、電話で内容を確認することもできる「デジタル防災行政無線応答サービス（自動音声）」があります。

同応答サービス ☎ 06 (6318) 2601

河川が氾濫した場合・・・

## 摂津市は低平地を中心に広範囲が浸水します



※事前に防災タウンページでハザードマップをご確認ください。  
(右記QRコードから市ホームページへ)



## 発令する避難情報に注意

集中豪雨などにより洪水が発生する危険性が高まった場合、対象エリアに対し、避難情報を発令します。住民がとるべき行動を5段階に分けて発信しますので、気象庁のホームページなどで情報を確認し、早めの行動を心掛けましょう。



警戒レベル	行動を促す情報	とるべき行動
5	災害発生情報	▽既に災害が発生している状況であり、命を守る最善の行動をする
4	避難勧告 避難指示（緊急） ※避難指示は緊急のまたは重ねて避難を促す場合に発令	▽避難を開始する ▽浸水前に緊急避難場所に避難する ▽避難所への道が浸水しているなど、避難が困難な場合は、自宅や周囲で、強固な建物の3階以上へ避難する ▽まだ避難していない場合は、直ちに身の安全を確保。周囲の最も安全な場所に避難する
3	避難準備・ 高齢者等避難開始	▽避難の準備を開始する ▽身の危険を感じる人は避難を開始する ▽洪水ハザードマップを確認し、浸水想定区域外に避難する ▽避難に時間のかかる人（高齢者、体が不自由な人など）は避難を開始する
2	注意報	▽避難に備え自らの避難行動を確認する
1	警報級の可能性	▽防災気象情報に注意するなど、災害への心構えを高める

※警戒レベル1・2は気象庁が発表

# 一人ひとりが備える

災害が発生してから慌てて準備をするのではなく、日頃から、災害に備えて緊急避難グッズや非常食を準備しましょう。また、早めの避難ができるよう避難所や避難ルートを確認しておきましょう。

最低でも3日分、できれば7日分を

## 非常持ち出し品や備蓄品を準備・点検する

### ●リュックに入れておきたいもの

- 飲料水 (500ml家族各人1本以上)
- 非常食 (家族各人3日分)
- 嗜好品
- 懐中電灯
- 携帯電話
- 現金
- 保険証
- 携帯ラジオ
- ビニール袋
- 携帯カイロ
- ライター類
- ラップ・アルミホイル
- 雨具
- ガムテープ
- アイマスク・耳栓
- 防寒シート
- 筆記用具・メモ帳
- 毛布・寝袋・座布団
- タオル・下着・靴下・スリッパ
- トイレトペーパー・ウェットティッシュ
- 衛生用品・生理用品
- 入れ歯・コンタクトレンズ・眼鏡
- 簡易食器 (紙皿・紙コップ・スプーン・箸)
- 缶切り・栓抜き・ナイフ
- 洗面用品・応急医薬品・日常使用している薬
- 体温計



### ●自宅に備えておきたいもの

- 飲み物 (1人1日3ℓ×7日分×家族数)
- 食料 (7日分程度)
- スリッパ
- カセットコンロ
- 使い捨てカイロ
- 簡易トイレ・ポリ袋
- 電力確保用品
- ブルーシート
- スコップ・バール・おの・のこぎり・ジャッキ
- ウォータータンク・荷物運搬カート

### ●感染症対策として

- マスク
- ビニール手袋
- アルコール消毒液



府や市では、避難者のために食料を備蓄しています。しかし、大規模災害時には、十分に行き届かなかつたり、交通網が遮断され、支援物資がすぐに届かなかつたりすることも予想されます。

そのため、各自でできる備えはしっかりしておきましょう。

### トイレ対策も忘れずに

水、食料に並んで重要なのが、トイレ対策です。昨年度に発生した災害を振り返ると、台風による浸水が原因で、関東にあるタワーマンションで断水し、トイレに困ったという事例がありました。風水害に限らず、地震災害でも水道管の損傷などで断水するリスクがあります。そんな時にトイレ対策として使えるのが非常用トイレです。中にはビニール袋

と凝固剤が1つずつ入っています。さまざまなメーカーから販売されていますが、ホームセンターやインターネット通販などで1つ150～200円ほどで購入することができます。サイズもコンパクトなので、水や食料と併せて十分な量を備蓄しておくと、万一の時に安心です。



## 避難場所・避難ルートを検討する

実際に歩いて確認

近くの避難所まで、どの道にどのような危険があるかなどを確認しながら歩き、避難所までのルートを確認しましょう。また、高齢者など自力での避難が困難な人に誰が付き添うか、家族で話をしておきましょう。

施設名	洪水				
	避難所	淀川	安威川	正雀川	山田川・大正川・境川
千里丘小学校	○				
子育て総合支援センター遊戯室 (旧三宅スポーツセンター)	○				
千里丘公民館	○				
第三中学校		○	○	○	○
三宅柳田小学校		○	○	○	○
摂津小学校		○	○	○	○
第一中学校		○	○	○	○
コミュニティプラザ		○	○	○	○
味舌小学校		○	○	○	○
正雀体育館		○		○	○
安威川公民館		○	○	○	○
市民図書館		○	○	○	○
正雀市民ルーム		○	○	○	○
別府コミュニティセンター		○	○	○	○
別府小学校		○	○	○	○
第四中学校		○	○	○	○
味生体育館			○	○	○
味生小学校		○	○	○	○
味生公民館			○	○	○
鳥飼西小学校		○	○	○	○
第二中学校		○	○	○	○
鳥飼小学校		○	○	○	○
鳥飼北小学校		○	○	○	○
新鳥飼公民館			○	○	○
鳥飼体育館				○	○
第五中学校		○	○	○	○
鳥飼東小学校		○	○	○	○
鳥飼東公民館			○	○	○
芦森工業大阪工場		○	○	○	○
摂津高等学校		○	○	○	○
ポリテクセンター関西J棟		○	○	○	○
市営三島住宅		○	○	○	○
府営摂津正雀住宅		○	○	○	○
大阪経済大学摂津キャンパススクラブハウス		○	○	○	○
府営摂津南別府住宅		○	○	○	○
(株)ダイキンサンライズ摂津【使用時間】8:15～17:15(土日祝除く)		○	○	○	○
府営摂津味生住宅		○	○	○	○
市営一津屋第1団地		○	○	○	○
市営一津屋第2団地		○	○	○	○
大阪漁具(株)		○	○	○	○
大阪人間科学大学 A、B号館		○	○	○	○
アドリーム千里丘		○	○	○	○
府営摂津鳥飼西住宅		○	○	○	○
アーバンハイツ		○	○	○	○
特別養護老人ホーム摂津いやし園		○	○	○	○
小規模特養摂津いやし園		○	○	○	○
摂津モラロジー事務所		○	○	○	○
教育センター【使用時間】9:00～17:00(土日祝除く)		○	○	○	○
文化ホール(いきいきプラザホールを含む)【使用時間】9:00～22:00(第4月曜年末年始除く)		○	○	○	○
マンハイム淀川公園		○	○	○	○
太中浄水場		○	○	○	○
摂津支援学校・とりかい高等支援学校		○	○	○	○
薫英学園(体育館)		○	○	○	○
星翔高等学校		○	○	○	○
摂津市立葬儀会館(せつつメモリアルホール)		○	○	○	○
東井高野小学校		○	○		
井高野中学校		○	○		
(株)かんでんエンジニアリング大阪北事業所		○	○	○	○

※避難所 自宅で生活できなくなった場合に避難生活を送る場所  
 ※緊急避難場所 切迫した災害の危険から逃れるための場所



# 地域で備える

「自分たちの地域」は「自分たちで守る」をモットーに市内には12の自主防災会が組織されています。また、市では、昨年度から地域の防災を支える防災サポーター制度を設け、現在、30人の市民に防災サポーターとしてご活躍いただいています。

いざという時に、地域やご近所で助け合いができるよう、日頃から声を掛け合うなど、顔が見える関係をつくるのも大切です。

## 防災の牽引役に 防災サポーター&防災士

市では、防災・減災活動に協力いただける市民を募り、養成講座を受講後、「防災サポーター」として自助・共助の牽引役をお願いしています。また、NPO法人日本防災士機構が認定する防災士の資格取得に対して補助金を交付し、市民のみなさんに、地域防災の担い手となってもらい、地域の防災力の向上を目指しています。

### せつつ防災サポーターの役割

- ▽防災に関する知識および技能の習得や普及
- ▽防災意識の啓発を図るための活動
- ▽災害発生時における情報の収集伝達、救出救護、避難誘導、避難所運営、災害応急対策など
- ▽その他災害予防および災害防止

昨年度、せつつ防災サポーターが誕生しました。女性のメンバーもあり、大規模災害発生時などでの避難所運営においては、女性ならではの視点が必要になると期待しています。



全30人  
(女性13人)

△せつつ防災サポーターの講習会

### 防災士資格取得の費用補助

防災士の資格を取得した人に対し、取得に必要な経費について補助金を交付します。

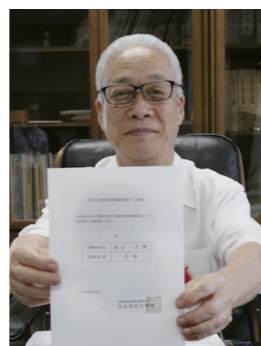
#### 補助金の額

補助対象経費の合計額に2分の1を乗じた得た額(その額が30,000円を超えるときは、30,000円)

#### 主な要件

- 次のいずれにも該当する市内在住者
- ▽平成31年4月以降に、防災士としてNPO法人防災士機構に登録された人
- ▽市が主催する防災サポーター養成講座を防災士登録後に受講し、防災サポーターとして登録された人
- ※その他の要件などは市ホームページまたは防災危機管理課へ

昨年、森山一正市長も防災士の資格を取得しました。



## 地域で助け合う

# 防災訓練&防災マップ

### 自主防災会で防災訓練

市内には、自治会を母体とする自主防災会が組織されています。これは、「自分たちの地域は自分たちで守る」という自発的的意思によって結成されたものです。自主防災を行っている団体は、小学校区(あるいは旧小学校区)単位で防災訓練を実施しているほか、単位自治会ごとに防災訓練を行っている団体もあります。

各団体では、AEDを使った心肺蘇生訓練や浸水の危険性の高い地域では洪水ハザードマップの説明を行うなど、地域の状況に合わせた訓練を行っています。



△防災マップ作り

### 地域性を生かした 地域版防災マップづくりを実施

自主防災会では、地域における防災体制を整える取り組みの一環として、地域版防災マップづくりを進めており、現在8カ所で作成しています。

地域の力によって作成された同マップは、市の避難所の他にも、その地域で生活してこそ気がつく背の高い建物(企業やマンション)の所有者と自主防災会自らが交渉し、協力を得られた施設も緊急一時避難場所として確認することができます。

### まかせて会員・おねがい会員

地域版防災マップを作成している地域では、自治会単位で「おねがい会員(災害時支援が必要な人)」「まかせて会員(避難を手助けする人)」の名簿を作成しています。自治会に加入することで災害時に地域ぐるみでの助け合いが可能になります。

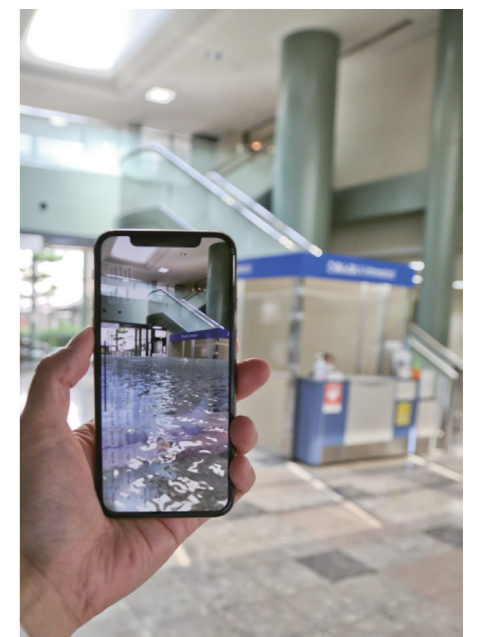
## AR機器導入 ~水害をリアルに体感~

### ARとは

「Augmented Reality」の略称で現実世界にCGなどで作った仮想現実を反映(拡張)させる技術のこと



市では、AR機器を導入し、防災講座などで参加者に水害を疑似体験してもらいます。これにより、取るべき行動をより具体的に検討してもらうことや市の洪水ハザードマップへの理解も更に深まることが期待されます。



神奈川歯科大学 歯学部 総合教育部 教授 板宮朋基博士(政策・メディア)  
AR災害疑似体験アプリ Disaster Scope®